



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第12号
平成29年3月21日
(文責：勝村 正樹)

ありがとうございました 皆様のご協力に感謝しています

3月も下旬となりましたが、風はまだ冷たく、本格的な春の訪れが待ち遠しい今日この頃です。

さて、この1年を振り返ってみますと、多くの方々に教育活動にご支援ご協力をいただきました。PTA活動をはじめ、校区探検にご協力いただいたり、畑での作物栽培、ぶどう畑でのぶどうの収穫体験などをさせていただいたりしました。このようなふれあいを通して、地元（郷土）を愛する心を育む機会となりました。

それ以外にも、毎日のあいさつ運動や登下校の安全確保等、いろいろな面から児童を温く見守ってくださいましたことに厚くお礼申し上げます。

今年度も大詰めを迎えました。明日は、第140回卒業証書授与式です。子どもたちにとって思い出に残る卒業式にしていきたいです。



新登校班結成！新登校班班長指導実施

来年度に向けて新しい登校班が結成されました。それに伴って班長・副班長も替わります。町別児童会では、集合場所と集合時刻の確認がされました。班長旗をしっかり持った班長を先頭に、来年も事故やけがなく安全な登下校を心がけさせていただきます。



第2回学校保健委員会開催

学校医の先生方にご出席いただき、今年度2回目の学校保健委員会を開きました。学校医の先生方からは、ご専門の見地から貴重なアドバイスをたくさんいただきました。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」をモットーに学校でも健康教育をさらに進めていきます。



新児童会が6年生を送る会開く 感謝の気持ちを6年生に

新児童会役員と5年生の子どもたちが中心となって準備を進め、2月24日に6年生を送る会を開きました。会に先立って、縦割り班ごとにゲームを行い、6年生と最後のふれ合いの時間を楽しみました。私は会の初めに「本当であれば卒業式に全員が出席して6年生を祝ってもらいたいが、それができないので今日の会が行われること、今日は6年生がお客様なので、1年生から5年生までのみんなが6年生に感謝の気持ちを伝えてほしい」と呼びかけました。オープニングでは新児童会役員のユーモア溢れる劇がありました。そして、各学年ごとの発表により6年生に自分たちの思いを伝えました。

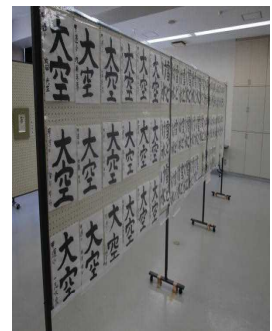
会の終わりには、6年生の素晴らしい歌声が体育館に響き渡りました。6年生も私たちとの別れを惜しむかのような、心もった透き通った歌声を届けてくれました。



文化の祭典「甲運地区文化祭」 暮らしにさらなる潤い生まれる

3月4日（土）～6日（月）に「甲運地区文化祭」が行われました。私は、開祭式に出席させていただきました。式終了後、甲運第一保育所の園児によるかわいらしい演奏で文化発表がスタートしました。そして、合唱や大正琴の発表へと進んでいきました。それぞれ素晴らしい発表でした。まさに文化の華が開いた瞬間でした。

展示部門では、本校の子どもたちの絵画作品や毛筆作品を飾るコーナーも設けていただきました。文化協会会長の下出祥司様に感謝するとともに、来年度も甲運地区の文化振興に学校として協力していきたいと強く思った1日となりました。



馬頭琴奏者ドルギオン先生が来校

美しい音色にみな酔いしれました



3月6日(月)に東京からプロの馬頭琴奏者をお招きして「馬頭琴演奏会」を開きました。1年生から3年生までの子どもたちが参加しました。

強くもの悲しい音色に魅了されて、いつしか誰もがモンゴルの広大な草原に佇んでいるかのような錯覚を覚えました。馬頭琴の演奏のほかにホーミー(一度に二種類の声を出す発声法)による歌も披露してくださいました。この独特な発声を初めて聞いた子どもたちは身を乗り出すように耳を傾けていました。

演奏を聞いた後、各学年代表の子どもたちが馬頭琴の体験をしました。今日の経験により「スーホの白い馬」の物語がさらに身近なものになればと思います。



いつもお世話になっています

「見守りに感謝する会」開かれる

3月6日の午後、朝の登校の様子などをいつも見守っていただいている地域の方々を学校にお呼びして、感謝の気持ちを伝えました。5・6年生による器楽演奏をプレゼントした後、全校で「ふるさと」を歌い



ました。子どもたちが地域の中で大切に見守られながら育てていることを実感することができた時間となりました。

縄跳び記録会開かれる！

友だちと心を合わせて跳びました

3月8日に縄跳び記録会を実施しました。

あや跳び、二重跳びなど個人で跳んだ後、各学級ごとに熱戦が繰り広げられました。チーム一丸となってリズムよく大縄を跳ぶ光景はまさに圧巻でした。



校舎よ、ありがとう！ 6年生が愛校作業を行いました



6年間を過ごした学校を6年生がきれいにしました。児童玄関では入口のガラスをていねいに磨いてくれました。2階の多目的室に行ってみますと、6年生が各学年の給食配膳台の汚れを拭き取っていました。思いのこもった作業の様子を見つめながら、いよいよ卒業が迫った6年生に対して感謝の気持ちが込み上げてきました。

心がほっとスマイル特集 今年度も子どもたちの笑顔や優しさに元気をもらいました。

- 給食準備前の時間に1年生の教室前を通りかかりました。私を見つけた1年生が駆け寄ってきて、ハイタッチを求めてきました。「久しぶりだね。」私は嬉しくなってハイタッチをしたのでした。
- 2年生の子どもがうやうやしく校長室のドアをノックして入ってきました。「バースデーカードをいただきにきました。」目がきらきらと輝いています。「おめでとうございます。これからもがんばってください。」そう言いながらカードを渡すと、一緒についてきた友だちが私に尋ねました。「校長先生、なぜ毎月バースデーカードの花が違うのですか。」「いい質問ですね。毎月その時期にあった花を印刷しているのです。」私が答えると、安心したように教室に戻っていきました。
- 最近、3年生が一輪車倉庫の鍵を借りにきます。以前は2年生がよく来ていたのですが、3年生の子どもたちの間に一輪車ブームがきているようです。「一輪車ががんばって練習していますね。今度一輪車に乗っているところを見せてください。」と私が言うと、「はい、わかりました。」頷きながら校庭に向かっていきました。
- 登校した後、あいさつ運動に加わっている4年生に「ご苦労様。」と声をかけました。すると、「ご苦労様です。」という爽やかなあいさつが返ってきました。
- 下校時玄関を出ようとしていた5年生が、「危なかった。」と言いながら班長旗を取りに戻ってきました。登校班長としての自覚が感じられた場面でした。
- ある日、私が出張に出かけた時のことです。掃除をしている6年生に「いってきます。」と声をかけました。「いってらっしゃい。」すぐに返事がありました。そばで一緒に働いていた友だちが、「いってらっしゃいませ。でしょう。」と言う声が聞こえました。

